

# ブラジル中銀は0.25%の小幅な利下げを決定

- ブラジル中銀は大方の市場予想通り、0.25%の利下げを決定。政策金利は史上最低水準の2.00%へ低下。
- ブラジル中銀は「残された緩和余地は小さい」と述べ、利下げ局面終了を示唆。市場は当面の金利据え置きを予想。
- ブラジル景気は4月に底を打ち、緩やかに回復しつつある。モビリティ指数は足元での経済活動の再開進展を示す。
- ブラジルの新型コロナウイルスの感染状況は足元で安定化の兆し。今後は感染抑制と経済活動再開の両立が焦点。

## ブラジル中銀は0.25%の利下げを決定

ブラジル中銀は8月6日の金融政策委員会(COPOM)において、大方の市場予想通り、0.25%の利下げを決定しました。これにより政策金利の水準は史上最低水準を更新し、2.00%へ引き下げられました(図1)。

ブラジル中銀は声明文において、「現在の経済環境は力強い金融緩和を必要としているものの、金融安定の観点からは、残された金融緩和の余地は小さい」と述べ、利下げ局面が概ね終了している可能性を示唆しました。

一方、ブラジル中銀は「インフレ期待およびインフレ予想が物価目標に十分に近づくまで、金融緩和を縮小することを予見しない」とも述べ、現状の低金利政策を当面の間継続する方針を示しています。市場コンセンサスでは、ブラジル中銀の政策金利は今後1年間は2.00%で据え置かれるとの見方が大勢となっています。

## ブラジルの経済活動は緩やかに再開しつつある

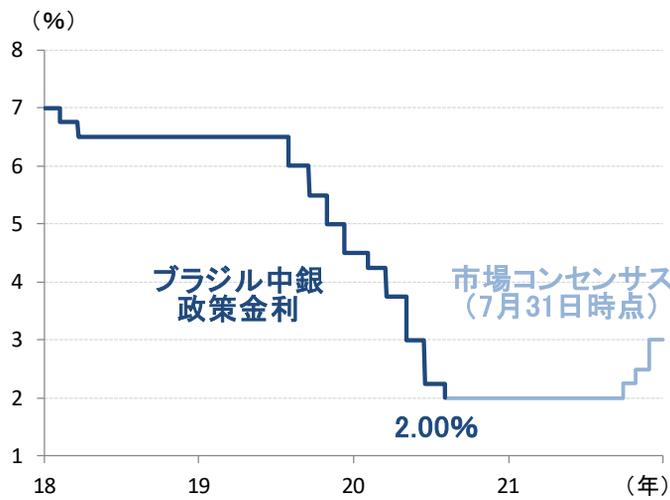
また、足元の経済指標はブラジル景気が2020年4月に底を打ち、緩やかに回復しつつあります(図2)。

2020年6月の鉱工業生産指数は前月比+8.9%となり、2カ月連続の生産活動の回復が示されました。また、ブラジル中銀が公表する経済活動指数(月次実質GDP)も5月に前月比+1.3%と小幅に回復しています。

さらに、アップルが日次で公表するブラジルのモビリティ指数(自動車、公共交通機関、徒歩による移動量を示す指標)は、ブラジルの経済活動の再開が7月以降も緩やかに進展していることを示しています。

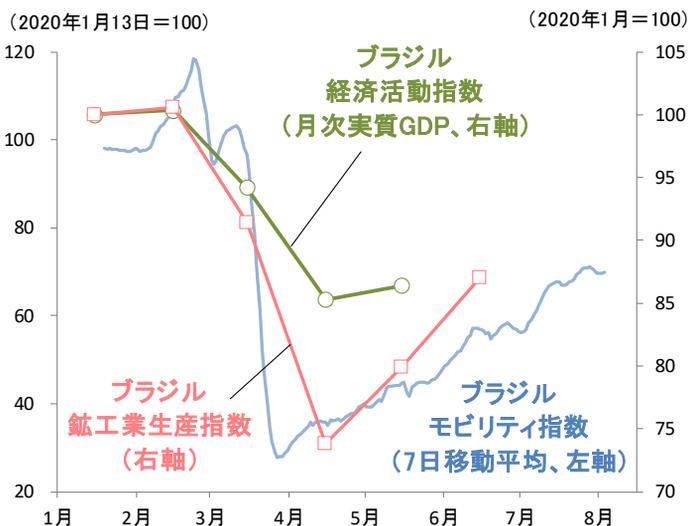
ブラジルでは、新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高水準にあるものの、コロナ感染からの回復者数も増加傾向にあるなど状況が安定化する兆しもみられます(次頁図3・4)。今後は、感染抑制と経済活動再開の両立を維持できるかが焦点となりそうです。

図1:ブラジル中銀の政策金利の推移



(出所)ブラジル中銀 (期間)2018年1月1日~2020年8月5日

図2:ブラジルの景気指標とモビリティ指数



(出所)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院、アップル、CEIC  
 (期間)月次実質GDP・鉱工業生産:2020年1月~6月(GDPは5月)  
 モビリティ指数:2020年1月19日~8月3日  
 (注)モビリティ指数は自動車、公共交通機関、徒歩の移動量の平均値。

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

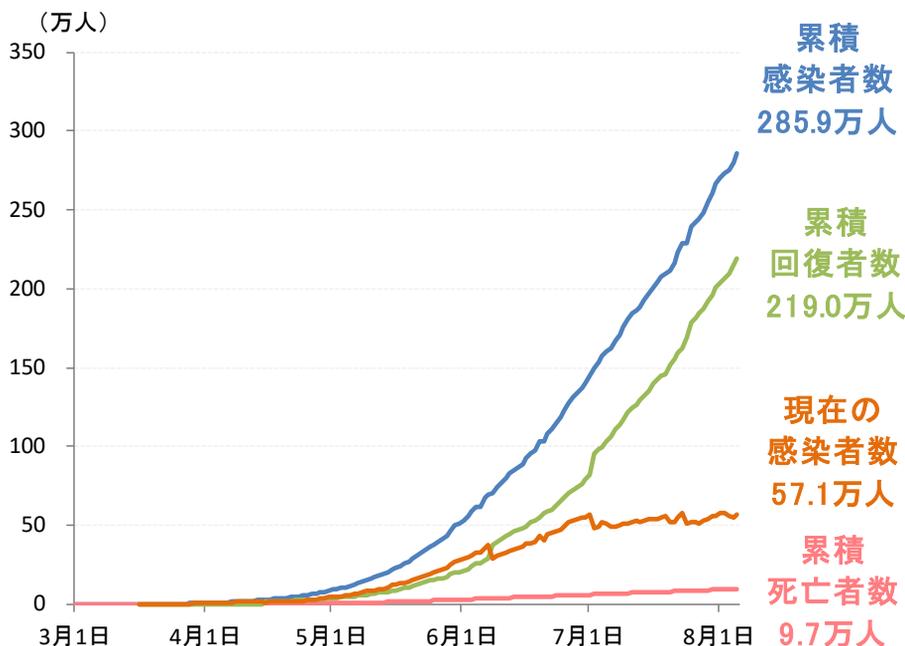


### 図3:ブラジルの新型コロナウイルスの新規感染者数の推移



(出所)ブラジル保健省、ブルームバーグ (期間)2020年3月1日～8月5日

### 図4:ブラジルの新型コロナウイルスの感染者数、回復者数、死亡者数の推移



(出所)ブラジル保健省、ブルームバーグ (期間)2020年3月1日～8月5日

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。